



石川弘樹のシューズに入っていた実際のインソール。経験に裏打ちされたカスタムが施されている。

ました。
白戸一般の人がスーパーフィートの良さをいちばん感じるのは、足がぶれないってことだろうね。ヒールキャップが踵をしっかりとホールドしてシューズの中で動かないから、下りなどではほんとに安定する。それからアーチの問題も大きいんじゃないかな。
石川「そうですね。足には「柔らかい状態」「固い状態」があって、「柔らかい状態」で衝撃吸収、「固い状態」で推進力を得る、といった分担がされているわけです。だからランではその状態の切り返してのがすごく大切になる。多くの人は「柔らかい状態」で走り続けているから推進力も出ないし故障もしやすいですね。それは足の3点アーチが正常な状態



HIROKI Ishikawa
石川弘樹

1975年、神奈川県生まれ。The Rocky Mountain Slam及びGland Slam of Ultra Runningを日本人初獲得。今年3月に行われたカリフォルニア・ツインピークスウルトラ50マイルでは優勝。

足は建物で言ったら、土台。だからこそ、こだわりたいんです

態になつていないからなんです。それから、これは使った人じゃないとわからないけれど、膝から上、腰や上半身も、すごく楽になる。アーチが正常になることでしっかりと衝撃吸収でき、同時に体に負担をかけずにパワフルな蹴り出しができるから。実によくできていると思う。
白戸「アメリカには足病専門医がついて、その第1号者がスーパーフィートを設計開発したんだよ。石川「考えてみると、足は建造物で言ったら土台でしょう。そこがしっかりできてなければ、2階や3階に住む人は安心できない。
白戸「さっきも言ったけど、僕らのやっていることって結局は走ってナンボ。しかも他のスポーツではあり得ないくらい長い時間、それを続けるんだから、ギアには本気で惚れてないとダメなんだよなあ。
白戸「僕は惚れてますよ（笑）ほら、今日も一緒にいますから（笑）」



TARŌ Shirato
白戸太朗

1975年、京都生まれ。トライアスロンの世界では知らぬ者なしのプロ・トライアスリート。競技で6年連続で世界選手権に日本代表となるなど活躍。アドベンチャーレースでも戦歴を残している。

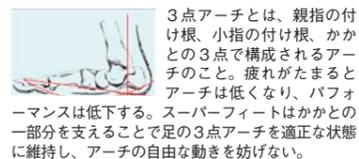
SUPERfeet. Why is SUPERfeet high performance?

30年の歴史と36種以上の特許が裏付けるスーパーフィートの効果
医療用インソールの開発から発想されたテクノロジーが圧倒的シェアの理由



トリムフィット グリーン
4,150円 (左右1ペア)

既成タイプのなかでもっともサポート性に優れかつ最大限の衝撃吸収性を誇るモデルがグリーン。ハイインパクト・プラスチック製スタビライザーと、一般インソールの2倍以上の圧力で作られたヘタリのない本体が、ランナーの足部をしっかりとささえる。



取材当日もシューズに入っていたインソールを持つ石川氏。左で紹介しているグリーンのカスタムバージョンを使用している。土踏まず部分のアーチがしっかりとついでおり、また表面には足指の形がはっきりと見える。



トップランナーが惚れ込む
スーパーフィートの
スゴさとは？

トレイルランナーにとってもっともこだわりのあるギアのひとつ、インソール。なかでもスーパーフィートは、足が本来持つ機能を正しく引き出してくれるという点で、多くのアスリートから圧倒的支持を得ているブランドだ。そこでスーパーフィートの真価と実力を2人のトップランナーの言葉で検証してみよう。

取材協力=インパクトトレーディング



白戸「トレイルランニングのギアでいちばん大切な要素って何だろうね？石川「機能や使いやすさはもちろん重要ですけど、どれだけ自分がそのギアを信頼できるかってことじゃないかな。僕らの場合、長い時間走り続けるわけで、その間ずっとモチベーションを維持しなくちゃいけない。ギアに惚れているかどうかは大きいですよ。
白戸「僕も自分がやる気になれるかどうかを一番気にするね。トレイルランニングは走ってナンボだから。石川「ウエアもバックパックも全部大切なんだけど、やはりこだわりたいのは足もと。シューズは当然としてインソールの重要性はとて大きいと思う。白戸「僕も石川もスーパーフィートを愛用してるけど、一度使うと麻薬のようにはやめられなくなる（笑）。
石川「最初に使ったきっかけは、ものすごくレースが連続して体に負担がかかってた時期があって、そのときにスーパーフィートを進められたんです。最初はしぶん固いインソールだと思ったんですけど、走り終わってみると明らかに疲労感が少ないし、マメも出てこない。それまでは長時間のレースで足が痛くなるのは当たり前だと思っていましたから、正直驚き

